

【No. 1】 商業施設の基本に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. みせは商いの現場そのものである
2. 商いで買い手と売り手の立場は、買い手が優先される
3. 買い物には世相が反映され、買物を通じて世の中が変化していく
4. 安全で安心して買物ができる空間を創るには、専門的な知識が必要である

答. 2

---

【No. 2】 わが国における小売業態に関する次の記述のうち、最も成立が遅いものはどれか。

1. ファストフード
2. スーパーマーケット
3. コンビニエンスストア
4. ファミリーレストラン

答. 3

---

【No. 3】 今後予定されている消費税に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 今回の増税は、消費税導入後 3 回目である
2. 軽減税率適用品目については 8%の据え置きとなる予定である
3. わが国で初めて消費税が導入され、施行されたのは 1979 年である
4. ファストフードやコンビニエンスストアでのイートイン（店の中で食べる）は標準税率の 10%が適用される予定である

答. 3

---

【No. 4】 まちづくり三法と総称される法律に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 改正都市計画法

2. 大規模小売店舗立地法
3. 中心市街地活性化法
4. 土地区画整理法

答. 4

---

**【No. 5】** 小売商圈に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 「商圈」とは特定の小売店舗周辺の消費者が、通常習慣的にその店舗へ買い物に来る範囲をいう
2. 「買い回り商圈」とは、日常の商品を徒歩圏で買い物する範囲をいう
3. ハブモデルとは、消費者の買い物先選択モデルで、いくつかの選択可能な商業集積の中から、特定の商業集積を選ぶ確率をモデル化したものである
4. コトラーは、小売業態を「有店舗」「無店舗」「組織」「集積」の4つに分類している

答. 2

---

**【No. 6】** 商業と情報技術に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 「BtoC」とは、企業間取引に対して企業対消費者との取引をいう
2. 「AIDMA」とは、消費行動プロセスで、注意・関心・検索・購買・情報共有を指す
3. 「ICT」とは、コンピューターやインターネットに関連する情報通信技術のことをいう
4. 「EC」とは、電子商取引のことで、ネットワークを利用して電子的に契約や決済などの商取引をすることをいう

答. 2

---

**【No. 7】** 世界的にキャッシュレス化が進む中で、国の方針として2027年までに国内のキャッシュレス決済比率を4割程度とすることを目指しているが、次の記述のうち最も不適当なものはどれか。

1. キャッシュレス決済とは、クレジットカード決済のことである
2. 多額の現金を持たずに買い物が可能となり、紛失等のリスクが軽減される

3. 事業者にとって現金管理コストの軽減による生産性の向上が期待される
4. スマートフォンの決済方法では、クレジットカードを持ってない若年層も利用できる

答. 1

---

**【No. 8】** 各種商業施設の計画上のポイントに関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 「店舗のゾーニング」とは、客動線を考え什器等をしつらえることで、デッドスペースをなくし売り場効率を上げることである
2. 「スーパーマーケット」の外周部売り場は、加工場を背面に持ち生鮮・鮮魚・精肉・惣菜の売り場とする
3. 「ショッピングセンター」の基本は、どのモールにも均一に顧客が通れることを原則とする
4. 「生鮮三品店」は、鮮度を売るために顧客との直接対話は大事で、間口よりも奥行きを長くとることが基本である

答. 4

---

**【No. 9】** コンビニエンスストアのサービスに関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 個人番号カード（マイナンバーカード）の発行
2. 各種料金の支払い
3. マルチメディア端末によるチケットや自動外貨両替
4. クリーニング取り扱い

答. 1

---

**【No.10】** コーヒーショップに関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 古民家を利用したカフェや居抜きのまま営業する投資効率のよい店が出てきているが、経営という観点では難しい局面がある
2. セルフサービス店では、全国共通の外装のサイン、ファサードとなっており、どこからも目立ち、見た瞬間に安心感が生まれるようになっている

3. セルフサービス型コーヒーショップは、コーヒーを提供するレジカウンター、デザートケース、キッチン、客席、化粧室、スタッフルームなどが計画される
4. 旧来から存在するフルサービス型の喫茶店では、商品であるコーヒーへの探究心が薄れ、街場における店舗の存在価値は無くなりつつある

答. 4

---

【No.11】 商業トレンドに関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 主な百貨店は、この近年合併などをおこなっている
2. コンビニエンスストアは、商社により子会社化されているものがある
3. スーパーマーケットは、大手流通企業もあるが、地方スーパーも健闘している
4. ドラッグストアは、M&Aなどにより合併が進みつつあるが、新規参入は進んでいない

答. 4

---

【No.12】 道の駅に関する次の文章の、に入る語句として、最も適当なものはどれか。

『地方都市などで地域活性化の拠点として注目される「道の駅」は国土交通省の所轄施設であるが、その登録条件は、24時間利用可能な電話、24時間利用可能な一定数の駐車スペース、トイレおよび  施設を備えた施設とされている。』

1. 地域振興
2. 防災備蓄
3. 情報提供
4. 仮眠休憩

答. 3

---

【No.13】 博覧会に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 博覧会が開かれる目的は人間育成と世界平和の探求である
2. 世界最初の国際博覧会が催されたのは1851年のロンドン万国博覧会である

3. 2025 年に開催される国際博覧会の会場は大阪の夢洲である
4. 国際博覧会条約より、博覧会は登録博覧会と認定博覧会に分けることができる

答. 1

---

【No.14】 各業態に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. カテゴリーキラーとは、特定の商品に特化し、少量高品質な品揃えと高価格により、ユニークな付加価値を武器にした小売店業態である
2. SPAとは、製造小売ともいう。企画から製造、小売までを一貫して行うアパレルのビジネスモデルを指す。消費者の嗜好の移り変わりを迅速に製品に反映させ在庫のコントロールが行いやすい販売業態である
3. ボランタリチェーンとは、多数の独立した小売事業者が連携・組織化し、商標使用・仕入れ・物流などを共同化し、これを行う形態である
4. ゼネラル・マーチャンダイズストアとは、総合スーパーとも言われ、日常生活で必要な物を総合的に扱う、大衆向けの大規模な小売業態である

答. 1

---

【No.15】 商業建築の歴史に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 今年火災にあったノートルダム大聖堂は、バロック建築の代表作である
2. アールヌーボーは 19 世紀末から 20 世紀初頭にかけて、開花した国際的な美術運動である
3. ル・コルビジエにより提唱された「鉄筋コンクリート」が建築の新技术を明快に示した
4. エッフェル塔はフランス革命 100 周年を記念し建造された

答. 1

---

【No.16】 商業施設の機能とデザインに関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 商業施設の平面レイアウトは、人の流れや物品の搬出入、設備とエネルギー供給ルートなどの主要動線が、シンプルで交錯しないようにする
2. 店舗の無人化やキャッシュレス決済の導入は、施設のデザイン機能とコスト計画に密接な関わりがある

3. モジュール (=基準寸法) を活用して建物や店舗に的確な寸法を持たせることを、モジュラーコーディネーションという
4. 商業施設のバックヤード動線を計画する場合、まず顧客が利用する主動線をレイアウトし、これを確定させたのちに残りの空間の中で設計する

答. 4

---

**【No.17】** 商業施設計画においてよく使われる用語に関する次の記述のうち、**最も不適当なもの**はどれか。

1. 「内装制限」とは、建築基準法で定められ、用途と規模によって床と天井の内装を制限するものである
2. 「直角駐車」とは、車路と車庫とを直角に駐車する方式で 35 m<sup>2</sup>/台である
3. 「モジュール」とは、基本寸法または尺度と訳し、建築などの寸法調整のために選ばれた寸法単位のことである
4. 「バリアフリー新法」とは、『高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律』のことである

答. 2

---

**【No.18】** 建築材料と防火性能に関する次の文章の、イ ロ ハ に入る語句の組み合わせのうち、**最も適当なもの**はどれか。

- (a) イ には、コンクリートやガラス等があり、加熱開始後 20 分間は燃焼しないものを指す。
- (b) ロ には、木毛セメント板や石こうボード等があり、加熱開始後 10 分間は燃焼しないものを指す。
- (c) ハ は、加熱開始後 5 分間は燃焼しないものを指す。

イ                      ロ                      ハ

1. 難燃材料 --- 準不燃材料 --- 非熱材料
2. 難燃材料 --- 非熱材料 ----- 不燃材料
3. 不燃材料 --- 準不燃材料 --- 難燃材料
4. 不燃材料 --- 非熱材料 ----- 準不燃材料

答. 3

【No.19】 バリアフリーデザインに関する次の記述のうち、**最も不適当なものはどれか。**

1. バリアフリー新法（旧ハートビル法）では、出入口、廊下、階段、傾斜路、昇降機、便所、ホテルまたは旅館の客室、駐車場、敷地内の通路について寸法、材質、形状などの基準を示している
2. 主な出入り口の幅は 90 cm以上が望ましい
3. 施設内のスロープの勾配を 10 分の 1 とする
4. 車いす使用者の駐車場の幅は 350 cm以上とする

答. 3

---

【No.20】 商業施設のサイン計画に関する次の記述のうち、**最も不適当なものはどれか。**

1. 企業全体のイメージを統一しながら、社会や消費者に訴求させることを、C I =Corporate Identity という
2. 企業経営と商品や店舗を戦略的に区分けして、多様な展開を行うことを、B I =Brand Identity という
3. 視覚障害者への配慮として、文字や図の表記に黄色を多用することは避ける
4. 広告物の設置が認められた地域では、石垣・街路樹・歩道柵・郵便ポスト・消火栓などに広告表示を行っても違法とならない

答. 4

---

【No.21】 東京オリンピックで話題になった「ピクトグラム（図記号）」とは、一般に「絵文字」などと呼ばれ、何らかの情報や注意を示すために表示される視覚記号の一つである。次の記述のうち**最も不適当なものはどれか。**

1. 地と図に明度差のある 2 色を用いて、表したい概念を単純な図として表現する
2. 日本を含め世界中の公共交通機関、観光施設等で広く掲示されている
3. 対象物、概念または状態に関する情報を、文字・言語によって提供する図形
4. 視力の低下した高齢者や障害のある方、外国人観光客等も理解が容易な情報提供手法

答. 3

---

【No.22】環境演出に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 商業の環境づくりには、デジタル化が進んだ現代では触覚や嗅覚情報がますます増大している
2. 安定的で効率的な経営を実現するためには、環境演出があつて差別化・区別化が図られる
3. 商業環境を構成する演出要素には、モノ、記号、人間及び環境の系があり、記号系には、サイン、グラフィック、映像などがある
4. 演出要素の環境系は、照明・音響などの人工的演出に、光、風など自然的演出が加わる

答. 1

---

【No.23】次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. プラスチックごみは世界的な問題になっており、解決策を研究中である
2. 人手不足による建築の遅れや不備がさげばれ、日常生活に支障が起きている
3. 環境アメニティ要素には、光・空気などがあり、イベントは要素に含まない
4. I T V設備は繁華街、商業施設の防犯、防災の目的に使用され役立っている

答. 3

---

【No.24】施工管理の要素に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 安全管理
2. 人材管理
3. 原価管理
4. 工程管理

答. 2

---

【No.25】複合商業施設の内装監理業務に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. テナントスケジュールの作成



2. 施工指針書の作成
3. 設計説明会の開催
4. 設計図書を作成

答. 4

---

【No.26】 建具工事に関する次の用語の組み合わせのうち、最も不適当なものはどれか。

1. ガイドレール ・ ・ ・ ・ シャッター
2. 引き違い戸 ・ ・ ・ ・ ・ レバーハンドル
3. 両開き戸 ・ ・ ・ ・ ・ プッシュプルハンドル
4. 強化ガラスドア ・ ・ ・ ・ フロアヒンジ

答. 2

---

【No.27】 家具・什器工事に関する次の用語の組み合わせのうち、最も不適当なものはどれか。

1. レジカウンター ・ ・ ・ ・ 天袋
2. 収納家具 ・ ・ ・ ・ ・ 引き出し (抽斗)
3. 椅子 ・ ・ ・ ・ ・ 背もたれ
4. テーブル ・ ・ ・ ・ ・ 天板

答. 1

---

【No.28】 建築材料に関する次の語句とマークや表示の組み合わせのうち、最も不適当なものはどれか。

1. 防犯性能
2. 不燃材料



3. ホルムアルデヒドの発散

F☆☆☆☆

4. 熱貫流率



答. 2

---

**【No.29】** 維持管理に関する次の記述のうち、**最も不適当な**ものはどれか。

1. プロパティマネジメントにはテナント管理、建物管理業務などがある
2. ファシリティマネジメントはアメリカで生まれた経営管理方式である
3. ランニングコストとは建物の生涯費用のことである
4. 劣化や故障が生じてから行う修理を事後保全という

答. 3

---

**【No.30】** 持続可能な都市形成に関連する次の記述のうち、**最も不適当な**ものはどれか。

1. スマートシティ・・・ITや環境技術などの先端技術を駆使して街全体の省資源化を計る環境配慮型都市
2. コンパクトシティ・・・都市機能の近接化による歩いて暮らせる集約型まちづくりの実現に向け、拡散した都市機能を集約させる街づくり
3. ECOシティ・・・環境問題に配慮し、人間と自然が共生することを目指す街づくり、エコロジカルに暮らし続けられるまちづくり
4. 環境モデル都市・・・生物に関する多様性が示す概念をもとに、持続可能な都市形成を目指すモデル都市

答. 4